

質 問 順 位	10	質 問 者	藤 田 哲 也 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 市長の基本姿勢	1. ふるさと納税業務の組織体制について	1. 本市においてもふるさと納税業務は、返礼品の開発や寄附者対応に加え、地域プロモーションや産業振興といった幅広い政策効果が期待される重要な事業である。現在、財政課と兼務の形でふるさと納税推進室を設置しているが、業務の高度化・多様化が進む中で、より効果的かつ効率的な運営のためには、兼務ではなく専任職員の配置が不可欠と考える。現状の組織体制で対応が十分可能であるのか、市の考えを伺う。		
		2. ふるさと納税業務には、マーケティングや地域商社的な専門性が求められる。職員の専門性向上と持続的な人材育成について、どのような方針であるのか市の考えを伺う。		
	2. 市立病院の持続可能な経営に向けた課題と展望について	1. 第15回厚生常任委員会で報告された市立病院の現金預金残高について、令和6年3月時点で有していた15億円が令和7年3月末時点ではその見通しが立たない予測が示された。これは一時的な資金繰りの問題ではなく、構造的な課題であると考ええる。人口減少、医療需要の変化、医療従事者不足など、地域医療を取り巻く環境が厳しさを増す中、市立病院が地域の中心的な医療機関として持続可能な経営を実現するためには、医療体制を確保し、経営基盤の強化に向けた中長期的なビジョンを明確にする必要があると考えるが、これらの課題に対する市の考えを伺う。		

質 問 順 位	10	質 問 者	藤 田 哲 也 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	3. 持続可能なまちづくりに向けた自治体運営について	1. 本市は、市立病院の経営、駅前再整備、公共施設の維持・更新など、重大な行政課題に直面している。従来から学校の建て替えと駅前再整備を同時並行で進める方針だが、ふるさと納税の減収や病院経営の財政的課題が山積する中、現在の全事業を同時進行で進めるのか、それとも優先順位を再構築し、特定の課題に集中して取り組むのか。市民の将来に大きな影響を与えるこれらの課題について、市長の考えを伺う。		
2. 行政運営	1. 財政シミュレーションについて	1. 地方自治体は毎年11月頃までに次年度予算編成に向けた財政収支見直しを作成し、中期財政計画の見直しを行うことが通例となっている。しかしながら、駅前再整備事業という本市の将来を左右する重要案件の審議にあたり、この財政シミュレーションが未だ提示されていない現状は、重大な問題であるとする。通常の年間財政運営サイクルにおいて、基礎的な財政シミュレーションが適時に作成されていない理由について、これは単なる一時的な遅延なのか、あるいは各部署間の連携体制や情報共有の在り方、さらには財政部門の業務プロセスにおいて何らかの構造的な課題等が存在しているのか、原因を伺う。		
		2. 現在、国内経済において物価上昇が継続し、地方自治体の財政運営に大きな影響を与えている。加えて、社会保障費の自然増や公共施設の更新需要など、将来的な財政需要の増大が見込まれる中、税収や地方交付税などの歳入面では、人口減少や経済成長の鈍化による影響が懸念されている。このような状況において、本市の財政シミュレーションでは、現在の物価上昇による影響をどのように分析・反映し、また、今後の経済変動リスクや財政需要の変化をどのように見込んでいるのか。さらに、それらのリスクに対する財政調整機能をどのように確保しようとしているのか、市の考えを伺う。		